

2017年3月期

決算説明会 プレゼンテーション資料

2017年5月26日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結、セグメント別) …P3
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P5
- 3. 部門別の概況 …P7
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P13
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P17

II. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画 基本方針 …P19
- 2. 中期経営計画 目標と実績・予想 …P20
- 3. 中期経営計画 経営指標と実績 …P21
- 4. 中期経営計画 重点施策 …P22
- 5. 「収益基盤の更なる強化」の概要 …P23
- 6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた
取り組み …P25

III. 2018年3月期 業績見通し

- 1. 2018年3月期の業績見通し(連結) …P29
- 2. 配当 …P30

I. 2017年3月期 決算の概要



1. 2017年3月期 ①決算概要(連結)

● 経営環境

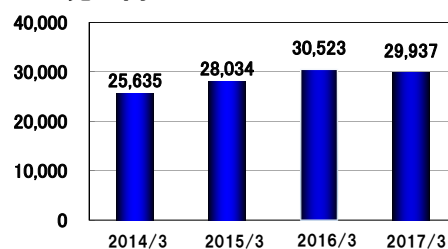
- 海外における政治リスクや地政学リスク等の影響により先行き不透明な状況
- 企業業績は堅調に推移し、雇用・所得の改善、設備投資は緩やかな増加基調

● 決算概要

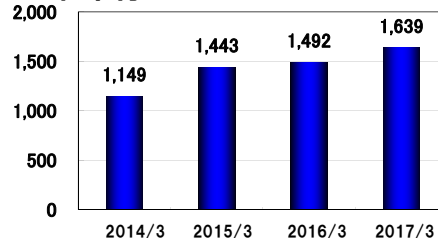
- 売上高は、資源・金属素材関連事業で不採算取引の見直しを行った結果、前期比減収
- 利益は、ポンプ類の販売やメンテナンス事業が堅調に推移したことに加え、保有不動産の売却等により、前期比増益
- 経常利益、当期純利益は過去最高益を達成

- 売上高・・・ 299億3千7百万円(前期比 ▲1.9%)
- 経常利益・・・ 16億3千9百万円(前期比 +9.9%)
- 当期純利益・・・ 13億4千8百万円(前期比 +42.8%)

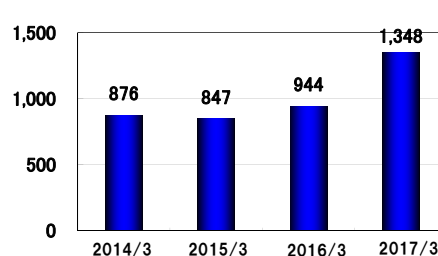
■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)

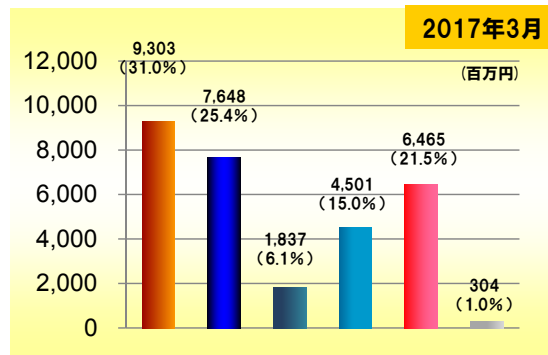
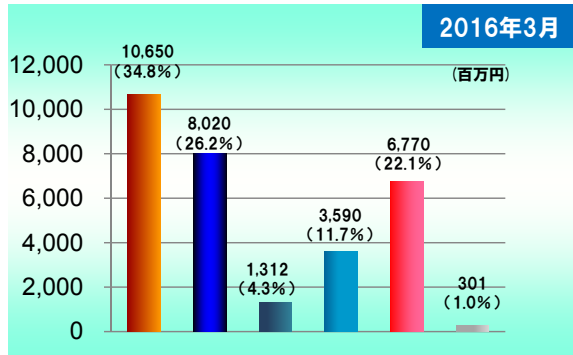


■ 当期純利益 (百万円)

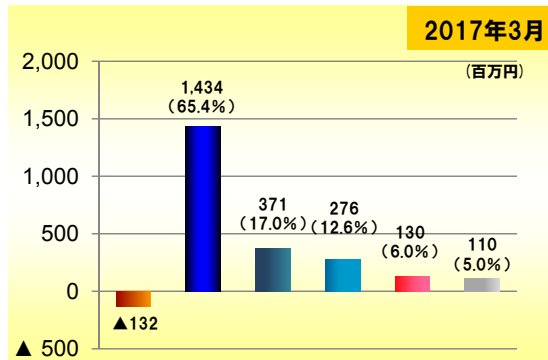
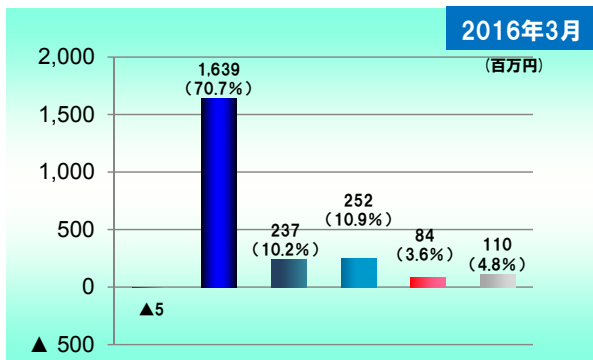


1. 2017年3月期 ②決算概要(セグメント別)

● 売上高



● 営業利益



注)
①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。
②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

1. 2017年3月期 ①損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	前期 (2016.3)		当期 (2017.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	30,523	100.0	29,937	100.0	▲585	▲1.9
資源・金属素材関連	10,650	34.9	9,303	31.1	▲1,346	▲12.6
産機・建機関連	8,020	26.3	7,646	25.5	▲373	▲4.7
環境・設備関連	1,312	4.3	1,837	6.1	525	40.1
プラント・設備工事関連	3,590	11.7	4,501	15.1	911	25.4
化成品関連	6,770	22.2	6,465	21.6	▲305	▲4.5
不動産賃貸関連	179	0.6	182	0.6	2	1.3
売上総利益	5,330	17.5	5,343	17.8	12	0.2
販売費及び一般管理費	3,909	12.8	3,883	12.9	▲25	▲0.6
営業利益	1,421	4.7	1,459	4.9	37	2.7
営業外収支	71	0.2	180	0.6	109	155.0
経常利益	1,492	4.9	1,639	5.5	147	9.9
特別利益	14	0.0	178	0.6	164	-
特別損失	0	0.0	2	0.0	1	-
税引前当期利益	1,506	4.9	1,816	6.1	309	20.6
当期純利益	944	3.1	1,348	4.5	404	42.8
1株当り当期純利益(円)	82.58		119.52		36.94	
1株当り配当金(円)	15		24		9	
配当性向(%)	18.2		20.1		1.9	

1. 2017年3月期 ②損益計算書(個別)

(単位:百万円・%)

	前期 (2016.3)		当期 (2017.3実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	19,983	100.0	18,790	100.0	▲1,192	▲6.0
資源・金属素材関連	10,650	53.3	9,303	49.5	▲1,346	▲12.6
産機・建機関連	8,020	40.1	7,648	40.7	▲371	▲4.6
環境設備関連	1,312	6.6	1,837	9.8	525	40.1
売上総利益	4,267	21.4	4,245	22.6	▲22	▲0.5
販売費及び一般管理費	3,311	16.6	3,305	17.6	▲6	▲0.2
営業利益	956	4.8	940	5.0	▲15	▲1.7
営業外収支	23	0.1	46	0.2	22	95.2
経常利益	979	4.9	986	5.2	6	0.7
特別利益	9	0.0	-	-	▲9	▲100.0
特別損失	0	0.0	2	0.0	2	-
税引前当期利益	989	4.9	984	5.2	▲4	▲0.5
当期純利益	602	3.0	653	3.5	51	8.5
1株当り当期純利益(円)	52.34		57.46		5.12	

6

2. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドは、市況価格が低値で推移し、前期比減収
- 金属シリコンは、販売数量は前期を上回る数量を確保したものの、販売単価の下落に伴い、前期比減収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)
ジルコンサンド	3,025	3,374	2,787	▲586 (▲17.4)	3,074	3,355	3,229	▲126 (▲3.8)
チタン原料	1,571	1,366	1,011	▲355 (▲26.0)	1,561	1,368	1,096	▲272 (▲19.9)
輸入原料	1,153	1,136	1,052	▲83 (▲7.4)	1,093	1,156	1,216	59 (5.2)
金属シリコン	3,753	4,019	3,631	▲387 (▲9.6)	4,149	3,801	3,519	▲282 (▲7.4)
その他商品	714	754	821	66 (8.8)	754	739	899	159 (21.6)
合計	10,217	10,650	9,303	▲1,346 (▲12.6)	10,632	10,421	9,960	▲461 (▲4.4)
粗利益率	7.58	6.24	5.06	▲1.18	7.51	6.26	5.05	▲1.21

7

2. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、前期に大口案件があったこともあり、売上高は微減も受注高は増加
- 建設機械は海外向けシールド掘進機に一巡感もあり売上高、受注高ともに減少

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)
ワーマンポンプ	2,832	3,267	3,018	▲249 (▲7.6)	3,141	2,976	3,038	61 (2.1)
ヒドロスタルポンプ	1,405	1,586	1,692	105 (6.7)	1,519	1,482	1,803	321 (21.7)
その他ポンプ	479	427	518	91 (21.4)	490	445	494	48 (11.0)
その他産業機械	962	1,102	1,087	▲15 (▲1.4)	1,084	995	1,249	253 (25.5)
産業機械 計	5,679	6,383	6,316	▲67 (▲1.1)	6,236	5,900	6,585	685 (11.6)
シールド掘進機	1,677	1,357	1,140	▲216 (▲16.0)	1,801	1,220	1,154	▲65 (▲5.4)
その他建設機械	213	279	192	▲86 (▲31.2)	287	202	190	▲12 (▲6.1)
建設機械 計	1,890	1,636	1,332	▲303 (▲18.6)	2,089	1,423	1,345	▲78 (▲5.5)
合計	7,570	8,020	7,648	▲371 (▲4.6)	8,325	7,324	7,931	607 (8.3)

8

2. 部門別の概況 ③環境設備関連

- スラグ製造設備は前期に大型案件受注があったものの、当期の売上高には大きく寄与せず、売上高は増加、受注高は大幅減少
- 高圧ポンプ関連は、部品・メンテナンス案件が好調で、売上高、受注高ともに大幅増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)	前々期 (2015.3)	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	629	451	531	80 (17.9%)	564	1,127	451	▲676 (▲60.0%)
ブツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	839	600	882	282 (47.0%)	680	688	1,013	324 (47.2%)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	269	260	423	162 (62.3%)	271	323	353	29 (9.1%)
合計	1,738	1,312	1,837	525 (40.1%)	1,517	2,139	1,817	▲321 (▲15.0%)

9

2. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 受注は堅調に積み上がり、大口案件の完工もあり増収増益
- ラサ商事・旭テック間のシナジー受注も開始

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	増減額	増減率	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	3,590	4,501	911	25.4	4,034	4,247	212	5.3

10

2. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 自動車関連及び一部電線業界が堅調に推移
- 原油価格の低迷から販売価格が低下したことにより、減収
- 販売効率化、経費削減効果により、増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	増減額	増減率	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	増減額	増減率
化成品関連	6,770	6,465	▲305	▲4.5	6,910	6,361	▲549	▲7.9

11

2. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底
- オフィスビルの稼働状況は100%と良好
- 遊休資産を売却し、賃貸物件に買換を実施

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	301	304	3	1.1%

12

3. 貸借対照表(連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当期末 (2017.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	18,253	64.1	15,917	57.4	▲2,336	▲12.8
現金及び預金	3,059		2,768		▲290	▲9.5
受取手形及び売掛金	8,213		8,415		201	2.5
完成工事未収入金	1,073		1,090		17	1.6
商品及び製品	4,003		2,348		▲1,654	▲41.3
未成工事支出金	1,571		1,017		▲554	▲35.3
その他	332		277		▲55	▲16.7
固定資産	10,233	35.9	11,834	42.6	1,600	15.6
有形固定資産	7,718	(27.1)	8,298	(29.9)	580	7.5
土地	5,470		5,933		463	8.5
建物及び構築物	2,151		2,188		37	1.7
その他	97		176		79	82.0
無形固定資産	102	(0.3)	50	(0.2)	▲51	▲50.3
投資その他資産	2,412	(8.5)	3,484	(12.5)	1,071	44.4
投資有価証券	1,676		2,658		982	58.6
その他	736		825		88	12.0
資産合計	28,486	100.0	27,751	100.0	▲735	▲2.6

13

3. 貸借対照表(連結) ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当期末 (2017.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	9,904	(34.8)	8,770	(31.6)	▲1,133	▲11.4
支払手形及び買掛金	3,877		4,166		288	7.4
工事未払金	321		257		▲63	▲19.8
短期借入金	2,930		1,400		▲1,530	▲52.2
1年内返済予定の長期借入金	1,192		1,345		153	12.9
1年内償還予定の社債	534		169		▲365	▲68.4
未払法人税等	348		468		119	34.4
その他	700		963		262	37.5
固定負債	6,537	(22.9)	6,017	(21.7)	▲519	▲7.9
社債	169		-		▲169	▲100.0
長期借入金	5,444		5,146		▲297	▲5.5
繰越税金負債	483		477		▲5	▲1.2
退職給付に係る負債	247		206		▲41	▲16.6
その他	192		186		▲5	▲3.0
負債合計	16,441	57.7	14,788	53.3	▲1,653	▲10.1
株主資本	11,937		12,744		807	6.8
その他の包括利益累計額	107		218		110	102.7
純資産合計	12,045	42.3	12,963	46.7	917	7.6
負債純資産合計	28,486	100.0	27,751	100.0	▲735	▲2.6
自己資本比率(%)	42.3		46.7		4.4	

14

3. 貸借対照表(個別) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当期末 (2017.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	12,847	70.5	10,803	61.4	▲2,043	▲15.9
現金及び預金	2,354		1,861		▲492	▲20.9
受取手形	1,739		1,891		151	8.7
売掛金	4,614		4,558		▲55	▲1.2
商品	3,937		2,291		▲1,646	▲41.8
その他	201		200		▲0	▲0.0
固定資産	5,382	29.5	6,783	38.6	1,400	26.0
有形固定資産	684	(3.8)	664	(3.8)	▲19	▲2.8
土地	464		464		-	-
建物	137		130		▲7	▲5.2
その他	81		69		▲12	▲14.9
無形固定資産	55	(0.3)	35	(0.2)	▲20	▲36.6
投資その他資産	4,643	(25.5)	6,083	(34.6)	1,439	31.0
投資有価証券	775		944		169	21.8
関係会社株式	3,119		4,279		1,159	37.2
保険積立金	475		618		142	30.0
その他	272		240		▲31	▲11.6
資産合計	18,230	100.0	17,586	100.0	▲643	▲3.5

15

3. 貸借対照表(個別) ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当期末 (2017.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	5,639	(31.0)	5,335	(30.3)	▲304	▲5.4
支払手形	1,155		1,255		100	8.7
買掛金	1,129		1,387		257	22.8
短期借入金	1,380		700		▲680	▲49.3
1年内返済長期借入金	785		903		118	15.1
1年内償還予定の社債	520		160		▲360	▲69.2
未払法人税等	259		330		70	27.3
その他	410		598		188	45.8
固定負債	1,884	(10.3)	1,312	(7.5)	▲572	▲30.4
社債	160		-		▲160	▲100.0
長期借入金	1,490		1,091		▲398	▲26.8
退職給付引当金	196		155		▲41	▲21.0
その他	37		66		28	74.4
負債合計	7,524	41.3	6,648	37.8	▲876	▲11.6
純資産合計	10,705	58.7	10,938	62.2	232	2.2
負債純資産合計	18,230	100.0	17,586	100.0	▲643	▲3.5
自己資本比率(%)	58.7		62.2		3.5	

16

4. キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	前期 (2016.3)	当期 (2017.3)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	82	3,837	税金等調整前当期純利益	1,816
			減価償却費	212
			売上債権の増減額(▲は増加)	▲218
			たな卸資産の増減額(▲は増加)	2,208
			仕入債務の増減額(▲は減少)	225
			法人税等の支払額	▲409
投資キャッシュ・フロー	81	▲1,385	有形固定資産の取得による支出	▲785
			有形固定資産の売却による収入	202
			関係会社株式の取得による支出	▲659
財務キャッシュ・フロー	▲478	▲2,743	短期借入金の純増減額(▲は減少)	▲1,530
			社債の償還による支出	▲534
			自己株式の取得による支出	▲362
			配当金の支払額	▲172
換算差額	▲1	▲0		
増減	▲315	▲290		
期首残高	3,374	3,059		
期末残高	3,059	2,768		

17

Ⅱ. 中期経営計画の進捗

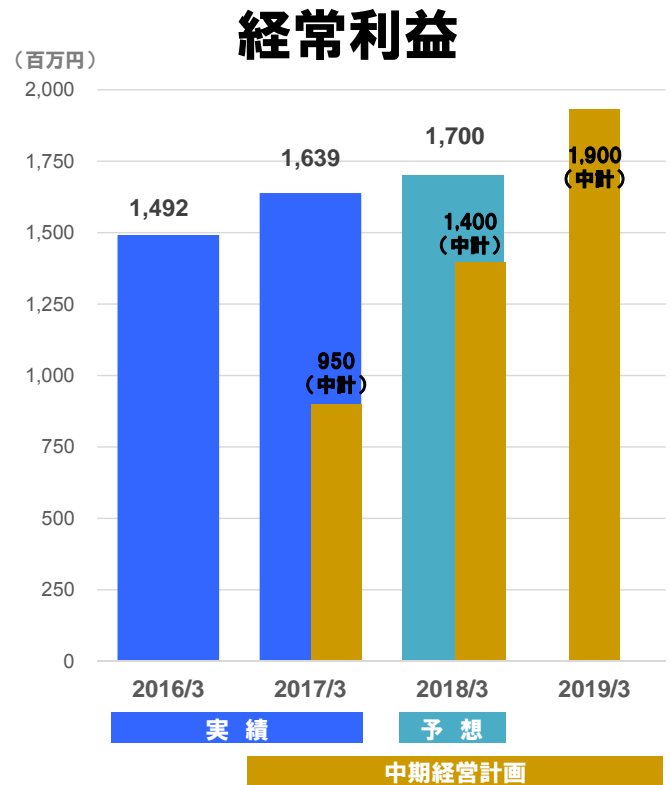
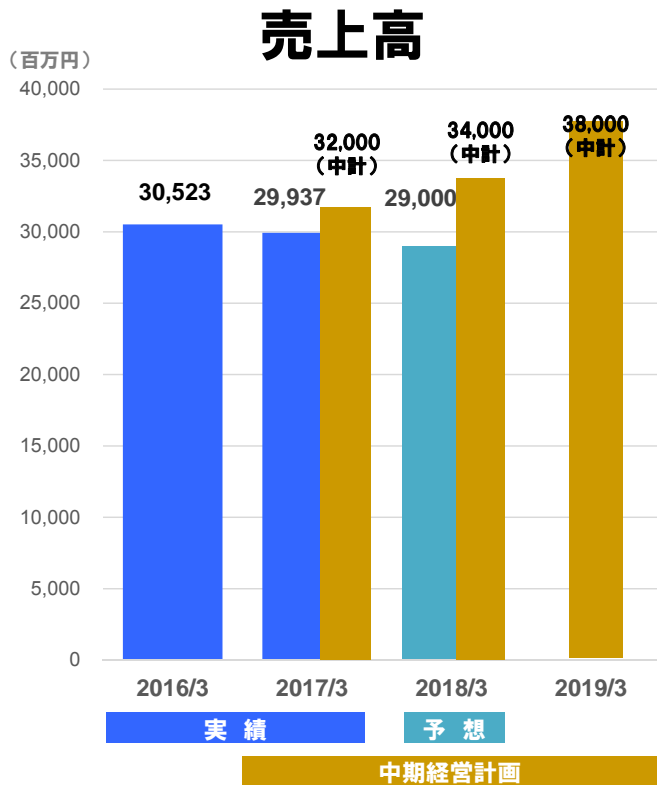
1. 新中期経営計画 基本方針

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
基本方針

- ① 変革の好機と捉え、重点施策の推進により企業価値向上を目指す
- ② 創立80周年に向け、専門商社の枠組みを超えた付加価値創出企業として、持続的な成長を目指す
- ③ 当中計から配当方針を見直し、株主価値の極大化に努める。

2. 中期経営計画 目標と実績・予想(連結)

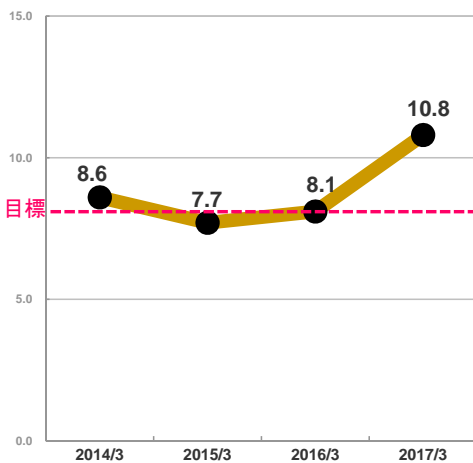


3. 中期経営計画 経営指標と実績(連結)

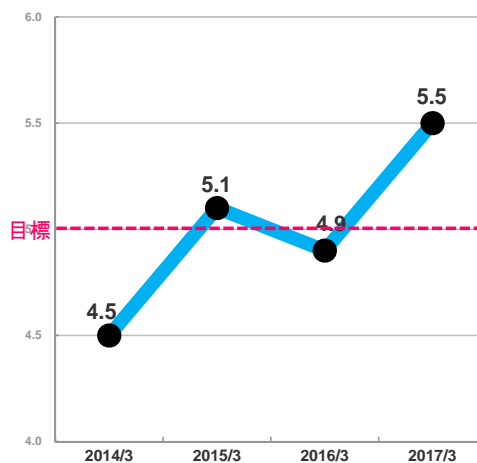
経営指標

- ①自己資本当期純利益率 (ROE) 8%以上
- ②売上高経常利益率 5%以上
- ③自己資本比率 50%以上

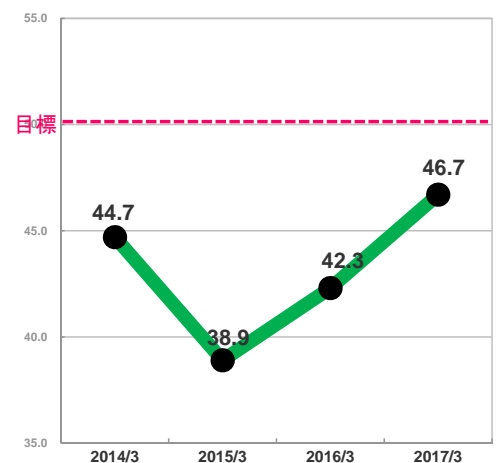
ROE (%)



売上高経常利益率 (%)



自己資本比率 (%)



4. 新中期経営計画 重点施策

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
重点施策

2つのテーマに取り組む。

1

収益基盤の更なる強化

- ・各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出
- ・事業間シナジーの創出

2

経営基盤の更なる強化

- ・新基幹システムの導入
- ・グループ企業間の人的交流推進
- ・コーポレートガバナンスの更なる充実

22

5. 「収益基盤の更なる強化」の概要

① 各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出

資源・金属素材関連

- 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直し

産機・建機関連

- 国内シェアNo.1のスラリーポンプにおける更なるシェア拡大
- BCP関連製品(多目的可搬式ポンプ)の販売拡大

環境設備関連

- コンサルティング営業によるポンプ関連製品の販売強化
- 石炭ガス化複合発電所向けのラサシステム導入推進

プラント・設備工事関連

- 既存顧客の設備更新需要の取り込み強化
- 新工場稼働による新規事業の拡大(ステンレス配管事業・ポンプ整備事業など)

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した海外向け需要の取り込み強化

不動産賃貸関連

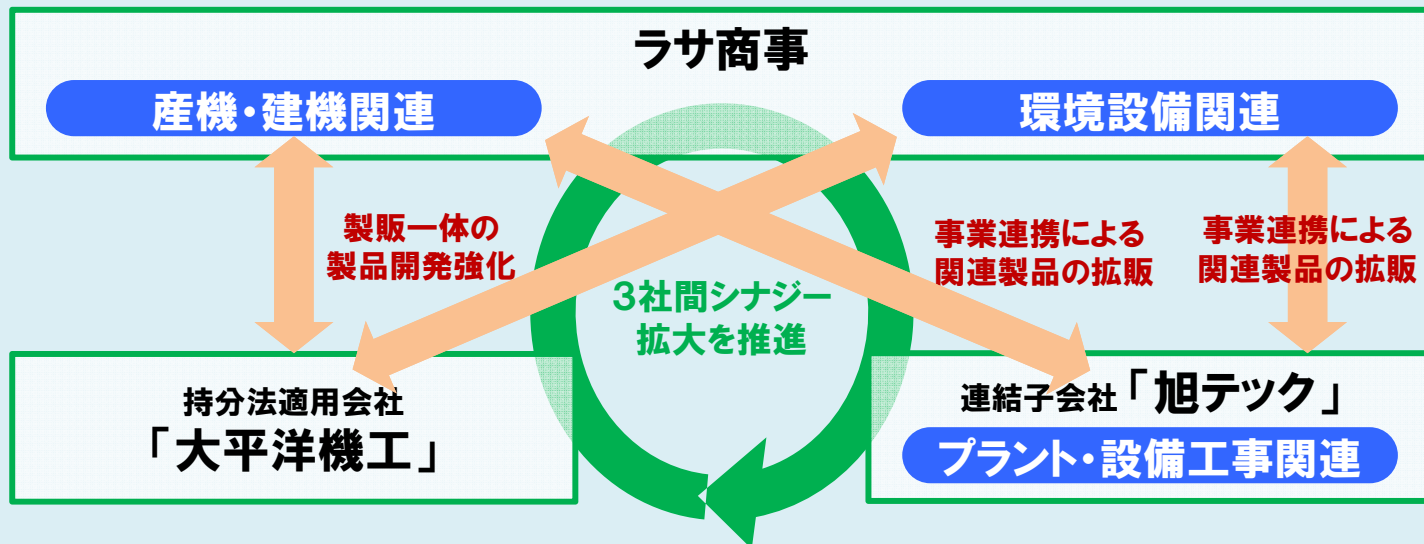
- グループ遊休地の更なる有効活用の推進
・八潮駐車場の事業化検討 など

23

5. 「収益基盤の更なる強化」の概要

② 事業間シナジーの創出

特に、将来的に大きな事業連携効果が見込まれる**機械関連3事業間シナジー**および**当社を含む関連3社間シナジー**の追求を強力に推進



24

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

① 新製品BETSY販売開始



浸水被害対策など様々な現場で使用可能な多目的可搬式エンジンポンプユニット

「**BETSY**」を2016年5月下旬より販売開始

※BETSY(ベッツィー)とは
Bifunctional **E**fficient **T**ransfer-pump **S**ystem
の略

【BETSYの特徴】

- ✓ 自吸式無閉塞型ポンプの採用で異物が詰まりにくい
- ✓ コンパクト設計だから牽引・積載が容易
- ✓ ディーゼルエンジンの採用で低燃費、且つ静音設計
- ✓ 水位変動を検知して自動制御運転が可能

25

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

②旭テック新工場完成、稼働開始



旭テック本社、第Ⅰ・Ⅱ工場



第Ⅰ工場内観

旭テック(株)概要

- 本社:千葉県袖ヶ浦市
- 2014年12月子会社化。プラント・設備工事関連事業を担う
- 京葉臨海コンビナートに施設を展開する約50社の大手企業のプラントについて、建設工事の設計・施工からメンテナンス工事まで一貫対応、元受比率も50%
- 袖ヶ浦の自社工場では、プラント等で使用する各種の配管などの加工を行う
- 大手ポンプメーカーの認定工場

2017年4月より新工場稼働



- ・ステンレスやアルミニウムなど高い加工品質、特殊配管の加工
- ・大型回転機の整備
を実現

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

③保有不動産の有効活用推進に向けた取り組み

イズミ(株)飯能工場跡地を売却し、新たな定期借地権付き賃貸物件に買換え。

これにより、事業の収益力が年間約20百万円向上。

遊休不動産



収益物件

売却代金プラス自己資金または借入金による買換え

Ⅲ. 2018年3月期 業績見通し



28

1. 2018年3月期の業績見通し（連結）

資源・金属素材関連事業において商品相場下落リスクを織り込んだ結果、売上高は減少も経常利益は増加を見込んでおります。

（単位：百万円・％）

【連結】	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	29,937	29,000	▲937	▲3.1
売上総利益	5,343	5,550	206	3.9
販売費及び一般管理費	3,883	4,000	116	3.0
営業利益	1,459	1,550	90	6.2
経常利益	1,639	1,700	60	3.7
当期純利益	1,348	1,125	▲223	▲16.6
1株当り当期純利益（円）	119.52	99.73	▲19.79	

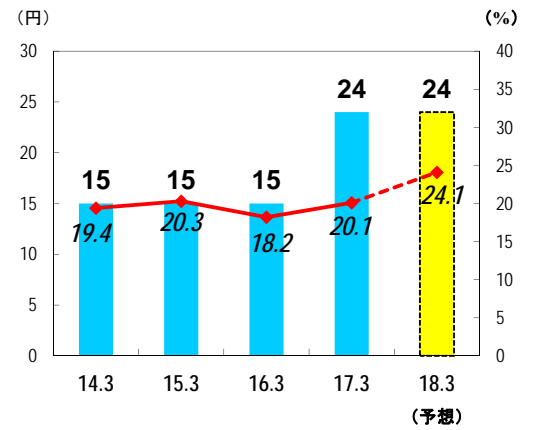
29

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

● 2017年3月期実績	24円
【中間】	7.5円
【期末】	16.5円
● 2018年3月期予想	24円
【中間】	12.0円
【期末】	12.0円

配当金・配当性向の推移



配当方針

安定配当



配当性向
25%前後
の維持

【2017年3月期実績】 20.1%
【2018年3月期予想】 24.1%